

# 海外視察報告書

令和元年9月13日

長崎県議会議長 様

長崎県議会議員 山本 啓介

海外研修視察を実施いたしましたので、次の通り報告いたします。

1. 日程 令和元年8月12日から令和元年8月17日（6日間）

2. 訪問国 インド共和国

3. 調査目的 ○情報通信業における人材確保  
○情報通信企業の誘致  
○インバウンドの促進

4. 調査事項 ○本県誘致予定企業訪問  
○JETRO バンガロール面談  
○在インド領事館訪問  
○留学予定大学訪問

5. 調査結果（別紙により作成）

6. 調査により得られた成果及び県政への反映方策

本県壱岐市への在バンガロール情報通信企業の誘致に関して、市長と責任者の間での覚書の取り交わしを行い具体的な打ち合わせができたほか、その後続く企業との間において日本や本県における状況などの意見交換が重ねられ、複数の企業より関心を得られた。

また、長崎に興味を持つ大学との意見交換によって長崎県への留学や情報通信スキルを有する人材の確保につながる関係を構築することができた。

以上の内容を県執行部へ新産業振興に関する有効な方法として提案していきたい。

7. 特記事項 香港国際空港閉鎖にともなって日程の変更及び復路行程を変更した。

# 海外視察報告

## インド・バンガロール



2019年8月12日～8月17日

長崎県議会議員

山本 啓介

# 概要

○今回のインド視察は、自身三度目の渡印となる。

○事前提出の計画と異なる報告となっているのは、香港におけるデモの影響を受け、まる一日香港国際空港において足止めをされたからである。その為、予定していた公的機関への訪問や対象者との日程については調整が可能な範囲での実施となった。

○今回の目的は視察計画にある調査事項通りであるが、その具体的な中身はインド企業誘致予定自治体である壱岐市長に対して、①企業との間での覚書の締結による進出意思の確認②その他の関心を示す企業との意見交換による継続性の確認③誘致企業に必要なとなる人材確保につながる大学の雰囲気④誘致による壱岐市にとっての効果である。

○調査事項の目的は以下の通りである。

- ①本県誘致企業との面談（情報通信企業ほか）
- ②本県への進出意思がある企業との意見交換（情報通信企業ほか）
- ③本県への留学をサポートする大学訪問
- ④在バンガロールにおける日本政府機関のサポート。

○複数の企業が過去の訪問で面談を既に行っているが、誘致についての具体的なやり取りや、市長に対する説明を通じて理解を深めることができた。



2019/08/14/09:30

社名 Rapidd Technologie

所在地 First Floor, MSR Complex, #50/7, 39th Cross, 16th Main, Jayanagar 4th 'T' Block, 5T Block, Marenahalli, Jayanagar, Bengaluru, Karnataka 560041

面談者 Mr. Bhoopalan Y. Padua, CEO

壱岐市進出予定企業への訪問

インドとスロバキアに社を置く「ラピッド社」はすでに壱岐市への進出を決めている。スポーツやファッションなどの情報収集とそれらを中心としたアプリケーション開発を行う彼らは、壱岐市長に対して自社の取り組みと「ソリューション」の壱岐市における可能性について説明と提案を行った。

集めた情報をどのように活用しどのようにビジネスにつなげていくのか、これらの話から行政における取り組みや、インバウンドなどの観光についての戦略についてやり取りがなされた。インドとスロバキアに100人を超えるエンジニアを有するラピッド社は、長崎県において地域課題や観光・スポーツなどを中心とした新たなビジネスモデルの構築などに取り組みたいとの意思が表明された。<https://www.rapidd.net/>



2019/08/14/10:30

社名 Subhanu Technologies

所在地 First Floor, MSR Complex, #50/7, 39th Cross, 16th Main, Jayanagar 4th 'T' Block, 5T Block, Marenahalli, Jayanagar, Bengaluru, Karnataka 560041

面談者 Ms. Bhanumathy Yellapan, Managing Director

ラピッド社と同じ社屋に構え、グループ関係にある「スバヌテクノロジー社」も壱岐市進出予定企業である。

低年齢に対するプログラミング教育に関する教材や環境提供などにおいてビジネスを展開している。来年から始まる日本の義務教育におけるプログラミング教育に対する考え方や関り方など提案を受けた。

また、ソフトウェア・アプリケーション開発などのトレーニングやスタートアップの支援などの事業展開を行っており、壱岐市における「スタートアップオフィス」などの取り組みについて関心を示していた。

プログラミング・英語・スタートアップなど「教育的なサポート」が可能な企業であるとの認識を深めた。今後壱岐市との具体的な連携についても検討を重ねていくことで一致した。



2019/08/14/13:00

社名 Aadyah Aerospace Private Limited: Integration & Test Facility  
所在地 7/1, Thirumalashettyhalli, Soukya Road Samenthanahalli, Hoskote,  
Thirumalashettyhally, Bengaluru, Karnataka 560067  
面談者 Mr. Sunderarajan Varadan, CEO  
Mr. Shaju Stephen, Chairman and Managing Director

「aadyah」 → 「アディヤ」

サンスクリット語の「オリジナル」を意味する「アディヤ」という社名のこの企業は航空学、宇宙および防衛工学および技術ソリューションに関連ビジネスを展開している。

特に「正確に飛ばす」ことに長けており「環境に対応しながら調整し正確に動く技術」を自信をもって説明を受けた。

日本の小さな自治体がインドの企業を誘致する事に興味を持っており、他国の地域の課題解決に取り組み、自社の技術と関連性を持たないかとの提案を受けた。農林水産業や航路空路の話などで島に興味を持ち、長崎県への進出についても関心を示した。

<http://aadyah.com/index.php>





2019/08/14/19:00 名古屋市への進出する企業と関心を示す企業との覚書  
会場 JW Marriott Hotel Bengaluru

所在地 Bengaluru, Ashok Nagar, Shanthala Nagar, KG Halli, Vittal Mallya Rd

参加企業（長崎県への進出について関心を表明する企業）

社名 Avohi [www.avohi.com](http://www.avohi.com)

出席者 Mr. Arya Rajesh Kumar

社名 Rapidd Technologies [www.rapidd.net](http://www.rapidd.net)

出席者 Mr. Bhoopalan Y. Padua, CEO

Subhanu Technologies [www.subhanu.com](http://www.subhanu.com)

出席者 Ms. Bhanumathy Yellapan, Managing Director

社名 Integra Micro Systems (P) Ltd. [www.integramicro.com](http://www.integramicro.com)

出席者 Mr. Mahesh Kumar Jain - Chairman, CEO and Managing Director

社名 VCNR Group [www.vcnrtech.com](http://www.vcnrtech.com)

出席者 Mr. Narasimhamurthy V, Managing Director, VCNR Group of Companies  
Mr. Pavan Kumar, COO, VCNR Group of Companies  
Mr. Rudramurthy BS, Director & CEO, VCNR Technologies Private Limited

社名 3ESS [www.3ess.in](http://www.3ess.in)

出席者 Mr. Chander Mannar, Partner, 3ESS Enterprises Ms. Smrithi Mannar,  
Partner, 3ESS Enterprises

社名 Aceline Aceline Tech Solutions Pvt. Ltd. [www.acelinetech.com](http://www.acelinetech.com)

出席者 Mr. Tadepalli Sunil, CEO, Aceline Aceline Tech Solutions Pvt. Ltd.  
Mr. Raajeelv Rao, Senior Vice President, Aceline Aceline Tech Solutions Pvt.  
Ltd.

参加企業（壱岐市への進出について評価する企業）

社名 Aadyah Aerospace Private Limited: Integration & Test Facility

[www.aadyah.com](http://www.aadyah.com)

出席者 Mr. Sunderarajan Varadan, CEO

社名 People Source Consulting [www.peoplesource.in](http://www.peoplesource.in)

出席者 Mr. Anjay Bansal

社名 Independent IT Consultant

出席者 Mr. Suneel Sastry

社名 Megaprabha Infotech Pvt Ltd [www.megaprabha.com](http://www.megaprabha.com)

出席者 Dr. Veeru

JETRO

Mr. Takashi Suzuki, Director General, JETRO

Mr. Deepak Anand, Research Director, JETRO

Mr. Yukata Endow, Director, Japan-India Start-up Hub, JETRO

インドと長崎県をつなぐアドバイザー

Mr. Mahalingam C, Chief Consulting Officer,

Mali Mahalingam & Associates and Senior





壱岐市への進出予定・関心を表明する企業との覚書及び壱岐市への進出をすることを評価する企業との覚書締結を行った。

英語のやり取りのためわかり難い表現であるが、壱岐市への進出意思の強さの違いである。その為、いずれも可能性はゼロではない企業が出席していることに違いはない。

壱岐市の説明、長崎県の状況、日本の状況などを解説し、これまで伝えてきた東アジアへの入り口として、人口減少対策や国境離島対策などに関する支援がある壱岐市においてスモールスタートをしようという私の考えに理解が示された。

今後は、年内に2社が壱岐市進出を果たすための環境整備（テレワーク・シェアハウスは空きがある）を進めていく。

この会場でのやり取りによって、今回の目的としていた進出意思の確認とその他の企業の意思表示などにより連続性などは確認できた。併せて、会場の雰囲気から壱岐市や日本へのモチベーションについても市長とともに確認できたことは大きな成果である。



2019/08/16 09:00 在ベンガルール日本国総領事館

所在地 Consulate office of the Consul-General of Japan in Bengaluru

[www.bengaluru.in.emb-japan.go.jp](http://www.bengaluru.in.emb-japan.go.jp)

Mr. Katsumasa Maruo, Deputy Consul-General / Consul

Mr. Amao Mitsuhiro, Vice Consul-General

インドにおける活動と今後の展開について報告した。

インド国及びバンガロールについての基本情報の説明を受けた。

また、イベントなどを通じて文化や人の交流を重ねており、それらの活動に協力企業を通じて長崎県や壱岐市の情報を発信していく提案を受けた。

多くの業務と並行しているので、交流事業は2国間の国民や企業が大きく、スピード感をもって交わる展開ではなく、地道なものが多いとの印象を受けた。



2019/08/16/14:00

社名 VCNR Group [www.vcnrtech.com](http://www.vcnrtech.com)

所在地#135, CNR TOWER, Opp. Binnamangala Nursery Vinayaka Nagar,  
Sadashiva Nagara, Nelamangala Town, Karnataka 562123

面談者 Mr. Narasimhamurthy V, Managing Director, VCNR Group of  
Companies Mr. Pavan Kumar, COO, VCNR Group of Companies Mr.  
Rudramurthy BS, Director & CEO, VCNR Technologies Private Limited

既に覚書を交わしている企業のオフィス・現場を訪問し、情報通信以外の業務について説明を受けた。

多くのエンジニアが業務を行うデスクはシンプルで整理され「紙」はわずかしか見ることにはなかった。

流通業は画像にある広さの倉庫を 100 棟以上建設し、世界規模の流通業に貸しているとのこと。素晴らしいビジネスに大規模の建設と流通の大きさに圧倒されていると、代表は「日本のモノづくりの質がほしい」と質問してきた。

確かにこの倉庫もところどころ不備があり、雨どいなどは公共インフラと繋がっていない。また建物周辺の整備は公道との接続ができていない。

多くの場合、インドの経営責任者は日本の「モノの質」に敬意を払い、それらに対して「連携」を望む。

どのような連携が果たせるのか、今後互いに検討していくことが確認された。



訪問先 Global Academy of Technology

所在地 Ideal Homes Township, Mysore Rd, Aditya Layout, RR Nagar,  
Bengaluru, Karnataka 560098 <http://www.gat.ac.in/>

地域に新たなものを引き入れ革新を図るには、引き入れるものに関わる「教育」をその地に根付かせることが重要だと指摘されたことがある。

私は壱岐市にインド情報通信業を引き入れようとしている。ただ企業が来ることだけでは薄っぺらなことであると感じているので、人材や教育も併せて引き入れようと考えている。

大学側には小さな自治体がインドの中小企業の東アジアの入り口になろうとしていることや、その為に市長にも考えがあることなどを理解していただいた。その上で、しっかりとしたスキルを持った学生が長崎で日本語を学び日本で活躍できる道筋にサポートをお願いした。

講堂では多くの学生の前で我々のプロジェクトについて説明を行ったが、学生たちの日本への関心は高く、興味津々の雰囲気だった。